

金星の日面通過 2012

手が3本欲しかった太田

前回の 2004 年は曇ってしまいウロウロしている間に1枚も撮れずに悲しい思いをしてしまった。今回は梅雨入り時期で金環日食も撮れなかったことから、多少の遠征は覚悟していた。しかし、何とか晴れて自宅で撮影することができた。

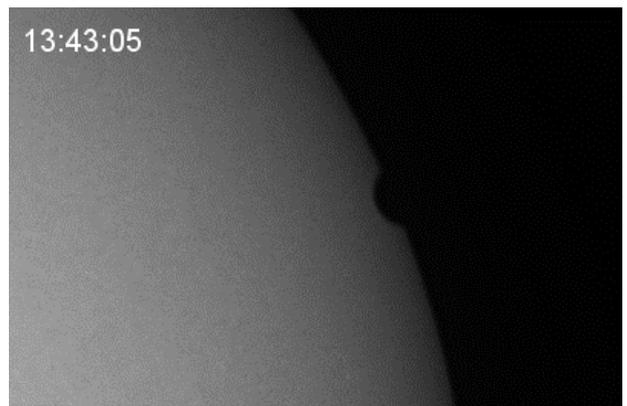
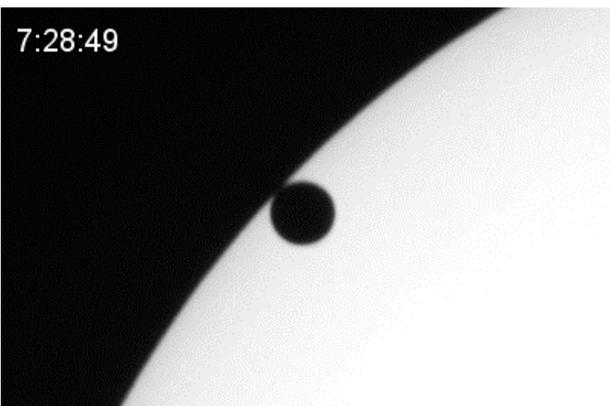
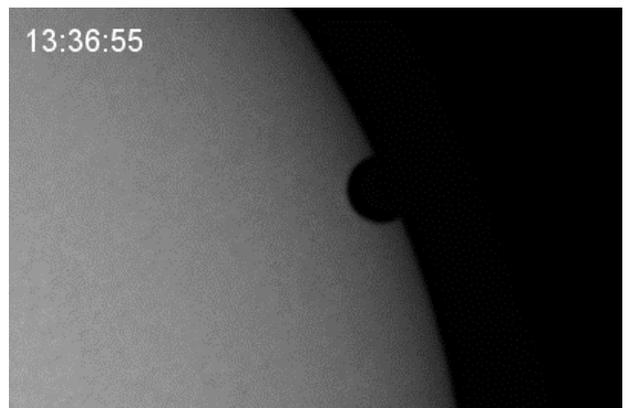
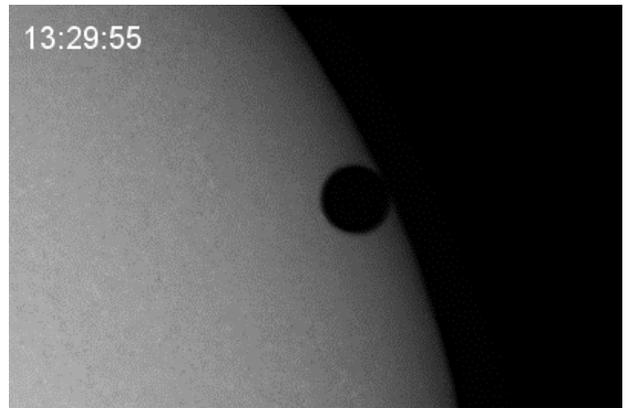
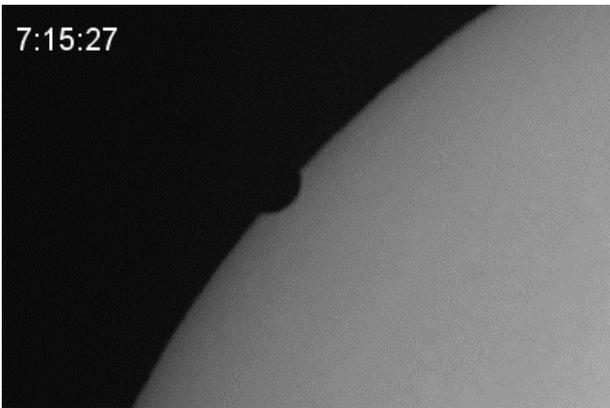
梅雨時期の朝は霧が出やすい地域であり、前日も出たので潜入はあきらめていたのだが、かろうじて雲間から出始めた。1枚目が撮れたのは7:12:25 でわずかに潜入しているのが確認できた。暫くは雲が厚かったのにノーフィルタで危険な撮影を行った。7:20 には雲がほとんど無くなりフィルタを装着して本格的に撮影を開始した。

インターバル撮影機能を利用して10秒・30秒・60秒などの間隔で数多く撮影した。

撮影鏡筒は130EDT+2倍テレコン+D5000とED102S+2倍テレコン+1.4倍テレコン+D5000の2台の欲張り作戦。ATLUXの調子が悪かったので個別にセット。また、眼視とプチ撮影用に76EDを使用。眼視の時は常に感動。いつも輝いている金星は見ているのだが、このように日面通過の場合は特に大きく感じてしまう。水星の日面通過も撮影したことがあるが、比べものにならないくらい大きいので、見るたびに「デカッ」と叫んでしまう。

日面通過はもう見る事ができないので、今回見る事ができて大成功といえる。あとは満ち欠けする金星をせっせと撮影するのみ。内合の撮影をしたいが、天候と相談してチャレンジしてみよう。

以下 BLANCA130EDT + NikonTC301 + NikonD5000



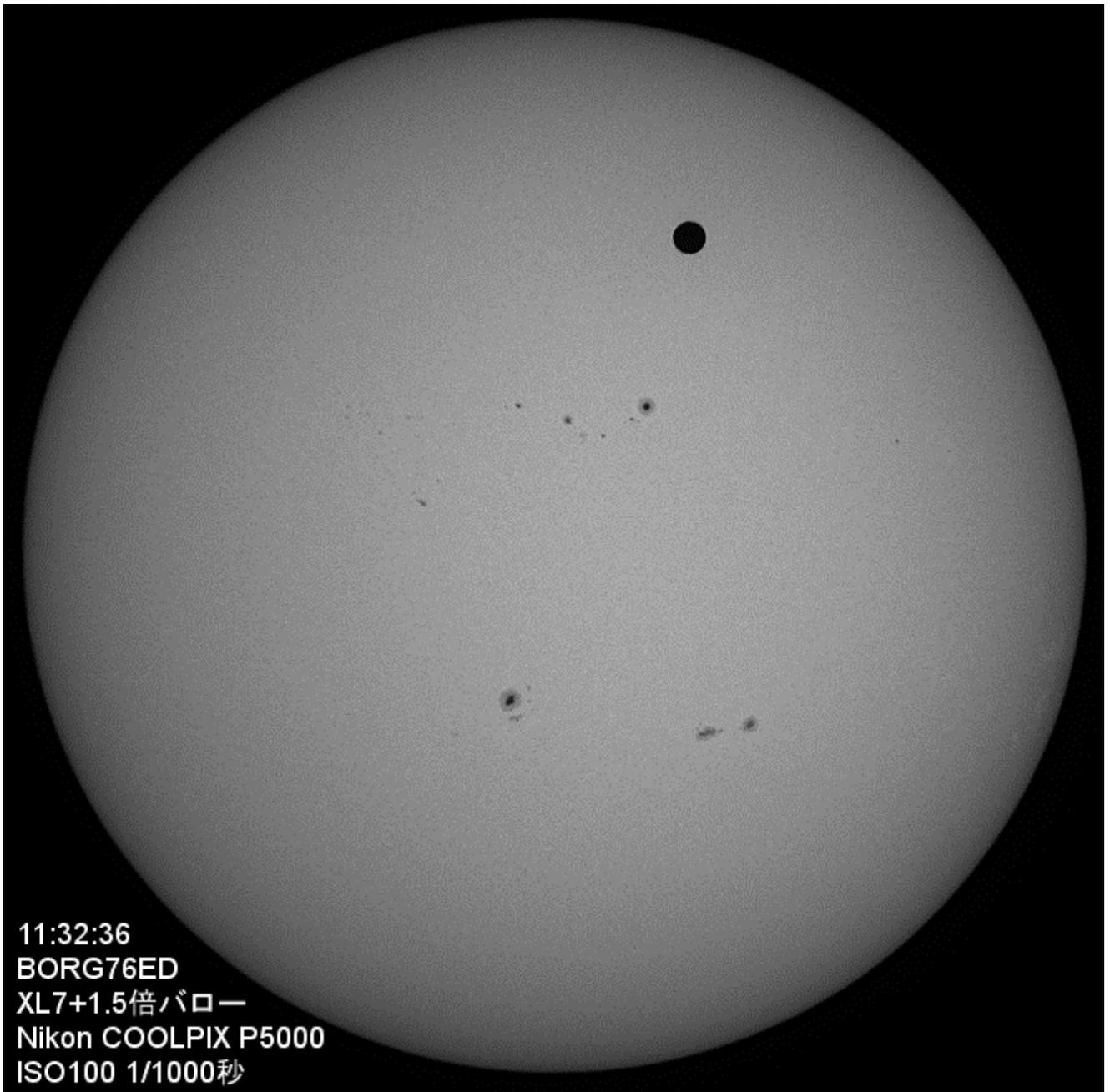


130EDT

ED102S

76ED

この撮影者



11:32:36
BORG76ED
XL7+1.5倍パロー
Nikon COOLPIX P5000
ISO100 1/1000秒

以上